

	申請者氏名	中島 美帆
論文名	Pressure -induced superconductivity of $Ce_2Ni_3Ge_5$	
国際会議名	International Conference on Strongly Correlated Electron Systems (SCES05)	
開催地	ウィーン (オーストリア)	
参加期日	2005年7月25 - 30日	
<p>参加目的：</p> <p>毎年、世界中から強相関電子系の研究者が集まる SCES05 に出席し、自らの研究成果を発表し、他の研究者と活発に議論、教授を受けること。特に、若い研究者と交流すること。</p>		
<p>会議の状況：</p> <p>気温が35度を超えるほどの猛暑の中、多くの参加者が会議に出席し盛況だった。最初の強相関物質である $CeAl_3$ が見つかったから30周年ということで、初日にはこれまでの歴史を振り返る講演が行われた。例年のように日本人の参加者が多かったが、特に口頭発表者が多かった。ポスターは非常に数が多く、決められた時間で見るのが難しいほどであった。</p>		
<p>成果概要：</p> <p>会議3週間前に発表した論文を、すでに読んでくれた研究者など、多くの方がポスター発表に訪れてくれた。中でもCe-Ni-Geの系を以前から精力的に研究しているフランス・ポルドーのグループが、我々の圧力誘起超伝導の発見を非常に評価して下さり、これからの研究への大きな励ましとなった。予想に反して、交流磁化率の測定の必要性や他組成の可能性などの指摘（つまり超伝導の真偽に関する質問）は少なく、代わりに常圧で二つ見られる反強磁性転移温度の起源やその低圧側の圧力依存に関するものなどが多く、今後の実験の参考になった。会議全体でみても圧力実験の結果が増加しており、我々の圧力発生装置に興味をもってくれる人も多かった。また、会議時間外に外国の若手研究者と交流する機会に恵まれ、お互いの国の研究生活からポストドク事情、就職状況について情報交換が出来たことも大きな収穫であった。実際に顔をつき合わせて議論することの重要さを実感し、研究課題はもちろん、自らの英語力とコミュニケーション能力についての課題が増えた一週間であった。</p>		